

AJRL NETWORK

Association of Japanese Residents in LAO P.D.R.



9月9日 日本人会 体力測定 & 運動会を開催

ラオス日本人会の皆様、そしてラオス日本語補習校の皆様の御協力を得まして9月9日(日)にラオスー日本武道センターにて盛大にファミリー運動会を開催することができました。まずこの場をお借りして皆様にご協力の御礼申し上げます。お陰様で104名の方に参加して戴きました。これは現在登録されています会員の約半数に相当します。日本人会のイベントを担当するものにとりまして、やはり参加者数が気になりますし、人数を確認した時に最初のやりがいを感じます。準備に1か月ちょっとの時間を費やし、色々な方の協力を求めたあわただしい準備期間でした。準備や実技を行うための助っ人の応募に対しましても20名の方が手をあげていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

午前中は体力測定と称し6種目の運動に挑戦して戴きその結果を判定して、現在の体力年齢(実年齢と運動能力年齢の差)を計算し日ごろの運動不足、あるいは日ごろの運動の成果を実感して戴きました。自己判定との違いに喜んだ方、やっぱりダメかとかっかりされた方色々だったと思います。この結果を今後のラオス生活の中で生かしていただければ、より健康的な生活がラオスで過ごせるかと思えます。日頃の運動は優れた栄養効果とも言われます。健康維持に運動は欠かせません。スポーツでなくとも少し時間の長い散歩など、運動を開始する良いきっかけになっていただければ今回の体力測定の目的が達成できたこととなります。



午後は大人も子ども一緒になって運動会で汗を流して戴きました。日頃のストレスが溜まっていたのか子どもたち以上に母さんお父さんがハッスルする姿を見て、ママさんパワーのすごさを改めて感じた半日でした。真剣に競技に興じる大人の姿に別の一面を見た気がします。子どもさんたちも傍で声をかけて励ましたりと子どもさん同士で一生懸命取り組んで戴くことができました。

最後の競技の綱引きでは女性ばかりで不利だと男性の助っ人を要請したチームが圧倒的な総合力で綱を引っ張り、あっけなく男性多数のチームに勝ってしまうなど改めてママさんパワーに男性陣がため息をついた場面もありました。ご帰宅した御主人方はきっとママさんパワーを確認しつつひっそりと静かに夕食を愉しんだのでは??

3時間という短い時間でしたが、大人も子供も思いっきり走り回り、普段感じる事の無い筋肉痛などを感じた方もいらっしゃるでしょう。良いストレス解消になり今後の活動の糧となった方も多いかと思います。更にうれしいことに、このようなイベント参加をきっかけに日本人会に加入して戴いた方も多くいらっしゃいました。日本人会の理事としてこれも非常にうれしい報告でした。この後、恒例のバザー、クリスマス会、1月のイベントと盛りだくさんのイベントを企画しています。ぜひ多くの方が参加して頂ける様楽しい企画を考えたいと思います。(日本人会)

☆☆☆参加者の声☆☆☆

日ごろ怠けている体に喝を入れ、体力年齢ブラマイゼロにぎりぎり滑り込むことができました。が、次の日は体中が筋肉痛。。。若返りを目指して運動頑張ります！（女性・法人）

午前中の体力測定は、運動不足を感じていた今日この頃、普段からの運動の大切さを再認識するよいきっかけになりました。幅跳びや踏み台昇降運動など、学生時代の体育館を懐かしく思い出しました。午後の運動会も、風船リレーや4人5脚、子どもたちと一緒に、走ったり、応援したり、工夫たっぷりの楽しい企画が盛りだくさん。子どもから大人まで、わいわい楽しんでいい汗をかくことができました！残ったのは、楽しい思い出と、激しい筋肉痛です。」
(女性・JICA)

さまざまな競技種目がある体力測定は中学生のころの体育の授業を思い出しました。実際やってみて体力がかなり落ちていて日ごろ運動をサボっていたことを反省しつつも久しぶりに自分の体力の限界に挑むことができ非常に有意義でした。(男性・JICA)

午前の体力測定では、普段使わない筋肉を使って、後日筋肉痛でしたが、自分の弱い部分もわかり、今後の体力作りに役立てたいと思いました。午後の部では、老若男女が入り混じって大盛況でした。特に最後の種目の綱引きは、4チームが総当たり戦で、私達チームは、1勝1敗で臨んだ3戦目、子ども達も全員一丸となって、腰を落として、「よいしょ、よいしょ」の大合唱です。結果は引き分け、、、まさに完全燃焼でした。日本人会実行委員会の皆様、楽しい一日をありがとうございました。(女性・JICA)



新規入会者案内

個人情報の為、削除

日系企業案内



ACSキャピタルコーポレーション ラオス駐在員事務所

弊社は、イオングループの一員としてラオスでの会社設立準備を行っています。5月からタラートサオの向かいのANZビルに入居し、事業ライセンス取得の申請準備を開始しました。イオングループは、イオン株式会社を純粋持株会社とする国内外180の企業から構成される企業グループです。売上高は昨年小売業として日本ナンバー1となりました。グループとして現在、総合小売事業、総合金融事業、ディベロッパー事業、サービス事業の4つの事業領域をコア事業と定め、経営資源の選択と集中を行っております。

総合金融事業の一環として弊社は、タイやベトナム、カンボジア等、10を超える国で割賦販売サービスをお客さまに提供して参りました。ラオスにおいても2013年初頭を目標として事業を開始するため、リーシングライセンス取得に向けた準備を行っております。

これまでラオスにおいては、グループの環境活動として、2006年より120校におよぶ学校建設支援やナンシャンダムでの植樹活動、重力給水施設および雨水タンク寄付による生活環境改善活動を行って参ります。

これまでと同様に、ラオスへの地域貢献を大切にしながら、安心して便利な金融サービスを提供することで経済発展への貢献を行って参ります。

邦人活動紹介



ラオス代表監督に就任し、早1か月が過ぎました。まだ生活面や食事、環境に順応できないところはありますが、何とか徐々に慣れてきました。

この度、日本から代表監督として木村浩吉（JFAナショナルトレセンコーチ）、技術委員長として関口潔（元サイパン代表監督）、そしてJICAの青年協力隊から代表アシスタントコーチとして本間圭がそれぞれ今年の7月に就任しました。

1993年にJリーグが発足し、2002年に日韓のワールドカップも開催され、日本のサッカーの著しい活躍は皆さんもご存じのことと思いますが、かつてはアジアの中でもなかなか勝てない苦しい時期がありました。そんな中、アジアの各国はこんな日本を様々な大会に招待してくれました。今がアジア貢献の時である。日本サッカー協会（JFA）ではアジア各国のニーズに答えるよう、ここ数年で多くの指導者をアジアに派遣しています。現在では、東ティモール、台湾、ミャンマー、シンガポール、ブータン、ヨルダン、サイパン、グアム、……。ここラオスからは昨年末にJFAへ依頼がありました。まさか自分がという気もしましたが、JFAの後押しもあり今回の就任となりました。

まずA代表の大きな目標として、10月に開催される「SUZUKI CUP」。この大会はASEANの中で行われるサッカー大会です。予選をミャンマーで行い、上位2チームは2次予選をタイとマレーシアで行います。12月にはASEANのユニバーシアードの大会がビエンチャンで開催されます。また2013年にはASEANのオリンピック「SEA

GAMES」とU18以上の代表カテゴリーは時間の許す限り観るよう努力します。これらの大会で良い試合を行い、一つでも多く勝てればと思っています。

ただ、懸念されることは、代表活動もさることながら、サッカーの底辺である子供たちのサッカー環境がまだまだ整備されていないこと。ラオス全土でサッカーを行っているとは思いますが、代表選手のほとんどはビエンチャン市内から選ばれている。ラオス代表というよりはビエンチャン代表という感じです。この裾野を広げ、環境整備をしない限り、ラオスのサッカーの将来はないと思います。

また、関口技術委員長の計らいで現在日曜日（土曜日）の夕方からドクンフットボールフィールドで在住日本人の方を対象にフットサルを行っています。サッカー未経験者の方も多数参加されています。日頃運動不足の方、ストレス発散に是非一緒に汗を流しましょう。

木村浩吉 プロフィール

1961年7月12日生、出身地 愛知県
幼少の頃からサッカーを始め、日産自動車サッカー一部では、2年連続（88-90年）3冠（リーグ戦、天皇杯、JSLカップ）達成。その後、コーチとしての道を歩み、09年には横浜F・マリノス監督に就任。現在はJFAからの派遣により、ラオスA代表監督を務める。

JFA（日本サッカー協会）アジアへの貢献

2012年6月より日本サッカー協会のアジア貢献活動の一環として、ラオスサッカー協会の技術委員長として赴任いたしました関口と申します。技術委員長の仕事とは、「代表チームの強化」、「ユース年代の選手育成」、「指導者の養成」、「子供たちへの普及活動」という幅広いものです。

ロンドンオリンピックでの男女の日本代表チームの活躍は記憶に新しいところですが、20～30年前までは日本もオリンピックに出場するどころか、なかなかアジアの国にも勝つことができない時代が長くありました。しかし、その勝てない時代に「代表チームだけを強くする」だけではなく、幅広くサッカーが発展する土台作りを地道にやってきたことが、最近の国際試合での好成績につながり、アジア諸国で日本の育成システムが非常に評価され、今回の「日本人スタッフをラオスに派遣してほしい」という要請につながりました。

ラオスのサッカー選手たちは、個々の選手のレベルはとても高く、ボールを蹴る（キック）、止める（コントロール）、運ぶ（ドリブル）といった技術も優れており、俊敏さや走るスピードなども日本人に引けをとりません。

しかしながら、多くの子供たちがサッカーを楽しめる環境が整っているか、選手が切磋琢磨できる大会が整備されているか、指導者が十分に養成できているか、才能を持った選手を発掘し育成できる体制があるのか、ということを見ると、まだまだやるべき課題が山積しています。

現時点では、ラオスのサッカーを幅広く見聞し、現状を把握することから仕事を始めていますが、その後、決して日本のやり方に合わせるということではなく、ラオスの実態（国民性やスポーツの捕らえ方、またはインフラなども含め）にあった強化・発展の道を模索し、実行し



日本人フットサル好きの集まり。後列中央が関口さん。大人も子供も、初心者も、一緒になって楽しんでいました。

ていきたいと考えています。

先述したとおり、幸い選手ひとりひとりのポテンシャルは高く、サッカーがラオスにおけるNo1スポーツであることは大きなアドバンテージでもあります。ラオスの多くの子供たちがサッカーを楽しみ、そこから選ばれた代表選手たちが国を背負って国際試合で戦い、応援しているラオスの皆さんが国に誇りを感じるような日が来ることを夢見ながら仕事に取り組みたいと考えています。

ラオスサッカー協会 技術委員長 関口潔

関口潔 プロフィール

1969年1月15日生、出生地 東京都
高校時代は読売クラブ（現東京ヴェルディ）、大学時代は早稲田大学でプレー。横浜FC強化部長、北マリアナ諸島代表監督を経て、現在はJFAから派遣によりラオスサッカー協会技術委員長を務める。





ワットアイ国際空港2Fにラオスのハンディクラフトを取り扱うアンテナショップをオープンしました。ショップの名前は、エコプラザ『グリーン・ラオ』。

緑豊かなラオスで生産される環境にやさしい素材をベースとした手工芸品の販売しております。店内には観光案内カウンターも併設し、ラオスに旅行に来られた方々への観光案内サービスも提供しています。

--- グリーン・ラオの商品生産者紹介 ---

ホワイホン婦人職業訓練センター

このセンターは1998年に日本のNGO「ラオスの女性とともに仕事を作る会」「ラオスの女性と子どもを支える会」により設立され、設立後3年間、JICAが援助を行っております。現在は自立しラオス労働福祉省のもと、職業訓練を通じて地域の女性を支援する為に運営されています。商品のほとんどは同センターにて手作業で染織されたシルクやコットンが使用されており、草木染めや手づくりならではの落ち着いた風合い、暖かみがあります。バッグ類をはじめ、ポーチや小物などお求めやすい価格でご提供しております。

バンビエン農林研修センター

バンビエン郡ホワイパモン村に位置する農林研修センター。このセンターは1998年にJICAの支援により設立され、地場産業として手すき和紙や紙布織りの技術移転がなされまし

た。紙布織りは手間のかかる工程から生産されるため、今日本ではわずかな量しか生産されていません。紙布はすべて草木染めで色合いがよく、紙の様な張りがあります。紙布で織ったラオス伝統模様のスカーフやテーブルクロスなどをはじめ、ラオスの生活用品として一般的な竹製品なども取り扱っております。

ウドムサイ工芸商業センター

同県内の農村で生産される希少な「クズ」や「シナ」の繊維の糸を使用した伝統的な編みの製品が特徴的です。これらの編み製品はもともと、農民たちが物を運ぶための袋として使用されてきました。中でもクズ繊維で編まれた袋は石を運ぶのに用いられるほど頑丈です。

これらの商品が生産される地域は以前麻薬の原料になるケシの産地でしたが、1998年、政府の政策によりその栽培が禁止されました。それにともない、麻薬栽培等で収入を得ることができなくなった地衣域住民の代替生計向上のためにリメイクして生まれたのがこれらの商品です。他にも質のいい綿でも知られる同県の肌触りのよいオーガニックコットンのスカーフなども取り扱っております。

クリーン、グリーン、ビューティフルラオスをコンセプトとするLPPプロジェクト(JICA)はラオス青年同盟と共同運営のもと、このショップを通して環境にやさしいラオスの発展を支援します。ワットアイ国際空港へお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

■営業時間

8:00 ~ 22:00

ラオスの祝日を除いて年中無休)

■場所: ワットアイ国際空港2F



いつもビエンチャン日本語補習授業校に対してお気遣い頂きましてありがとうございます。

補習授業校では、小学部5名、中学部1名の新入生を向かえ、新年度がスタートしました。一学期には、いろんな行事が行われました。

〔スポーツ大会〕5月に、新入生・保護者の親睦を深めようと、スポーツ大会(ドッジボール)が行われました。生徒・保護者混合のチームに分かれて、計6試合の試合を行いました。保護者の活躍に、子供たちも大喜び!!この日、最後の試合には、保護者対生徒の試合も行われました。結果は・・子供たちが勝利しました。

〔世界一大きな授業〕4月下旬に、課外授業として、SVAから3人の講師においでいただき、「震災から見てきた教育の大切さ」をテーマに「世界一大きな授業」が行われました。震災時やラオスの教育の現状と課題などお話をいただき、学んだ事の振り返りとして、何が大切かなどの提案作成なども行いました。普段、

あまり触れることのない教育の現状や課題などに、子供たちはいろいろ考えることが出来た一日になりました。

8月から2学期もスタートし、少ない人数ながらも頑張っております。2学期には、日本人会主催の行事にもいくつか参加させて頂く予定です。このような機会に感謝しつつ、勉強に励んでいけたらと思っております。

ビエンチャン日本語補習授業校
教諭 石田良子



在外選挙人名簿への登録申請はお済みでしょうか？

選挙は私たちの声を政治に生かす大切な機会ですが、この選挙権を行使する機会が海外においても保障されています。これが在外選挙です。在外選挙制度は、海外に居住されている有権者の皆様に国政選挙（衆議院議員選挙及び参議院議員選挙）に参加していただくための制度です。

在外選挙を行うためには、あらかじめ管轄の在外公館を通じて、在外選挙人名簿への登録申請を行い、国内の市区町村選挙管理委員会から在外選挙人証の交付を受ける必要があります。この在外選挙人証の交付までには、在外公館で申請してから、通常1～2か月程度かかりますので、申請がお済みでない方はお早めに当館領事窓口で登録申請をお願いいたします（手数料はかかりません）。

なお、在外選挙人証をお持ちの方が、帰国後市区町村で転入届を提出してから4か月を経過した場合や日本国籍を失った場合は、在外選挙人名簿から登録抹消されますので、在外選挙を行うことはできません。また、短期間の日本滞在中に、市区町村役場で転入届を提出した場合でも、同様に登録抹消されます。この場合、改めて在外選挙人名簿への登録申請が必要となりますので、ご注意ください。

在外選挙投票の際には、必ず在外選挙人証と写真付身分証明書が必要です。既に登録済みの方は、次回在外選挙に備えて、在外選挙人証がお手元にあるかご確認ください。万が一、在外選挙人証を紛失した場合には、当館において、再発行申請の手続きを行う必要があります。在

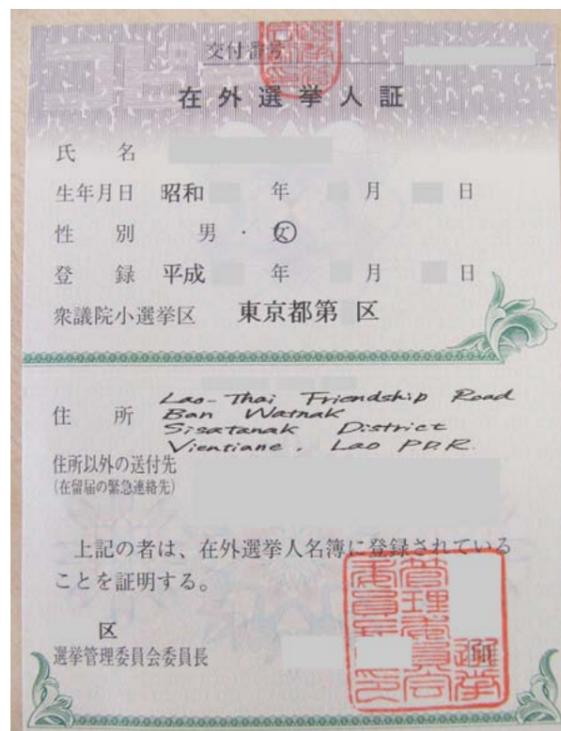
外選挙人証の再発行にも通常1～2ヶ月程度かかりますので、お早めに再発行申請手続きをしてください。

在外選挙に関する詳細につきましては、外務省、総務省のホームページ及び大使館ホームページをご覧ください。

●外務省HP (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/index.html>)

●総務省HP (<http://www.soumu.go.jp/senkyo/hoho.html>)

●大使館HP (<http://www.la.emb-japan.go.jp/jp/consular/senkyo.html>)



世界銀行は貧困削減を目的とする国際機関。ラオスは1961年に加盟し、1978年に灌漑プロジェクトが第一号として承認されました。1999年に3人でスタートしたパトゥサイ近くの世界銀行事務所も今では、スタッフも60人近く。私は2001-2002年まで現事務所に勤務し2010年に戻ってきてラオスの変貌振りに驚くばかりでした。世界銀行は現在、教育、保健、マクロ経済、貿易、公共財政、インフラ、環境、森林保全など多岐に渡る分野でプロジェクト支援、セクター分析、政策提言などを行っています。今回はその中から幾つかを紹介させて頂きたいと思います。

貧困削減基金は2003年に始まった、最も貧しい28郡を対象にした住民参加型のプロジェクトです。村落レベルで何が重要か話し合いをし、村人自身が優先プロジェクトを決め進めていきます。学校や保健所の建設、村落道路、水道設備など村人によって選ばれた小規模インフラのための資金が提供され、資金管理、メンテナンスなどの訓練も行われます。村人のプロジェクトに対する所有権、責任感を強めるために資材、労働力といった形でコミュニティからの貢献もプロジェクトの大切な一部です。貧困削減基金は今まで2185村で91万人を対象に2885プロジェクトを支援し、531の学校、84の橋、54の保健所、1167の井戸や水道設備、115の感慨施設ができ、3042キロの道路が改善されました。コミュニティからの貢献はプロジェクト額の19%にも及びます。そしてこのプロジェクトの

成果は村人たちの自分たちでプロジェクトを運営した誇りと自信ではないかと思いません。

ナムトゥンダムは売電により25年間に渡って20億ドルの歳入を生み出し貧困削減と環境保全のための公共投資を増やすことを目的としたプロジェクトです。10年以上にわたるフィービリティスタディ、環境アセス、住民との対話などを経て、2005年に工事が始まり、2010年の発電が開始されました。2010年からナムトゥンの歳入が政府の教育、保健、道路整備への予算に使われています。

一方ラオスの電力化は1995年の全世帯の15%から2011年で71%にまで増えました。世界銀行は1987年にラオス南部での電力化プロジェクトをはじめ、現在は全国に及ぶ地方の電力化プロジェクトを支援しています。配電網の整備による電力化に加え、貧しい特に女性が世帯主の家庭を対象にソーラーパネルを設置するための資金を利率ゼロで融資する回転資金を支援しています。一世帯に対して設置資金約100ドルを貸し、返済は月に約2ドル。2008-2009年にかけて試験的に行ったフアパン州の20の村では537世帯が参加。これらの村の電力化が65%から95%に増えました。村の人々特に女性は、電気のおかげで夜にも仕事ができるようになり、子供たちが本を読めるようになったと喜んでいきます。この成功をもとにソーラーパネルのための回転資金を全国的に広げていく予定です。

世界銀行ラオス事務所カントリーマネージャー
三輪佳子

三輪佳子:兵庫県出身。サウスハンプトン大学で開発学修士号、ニューヨーク州立大学で教育政策・行政学博士号を取得。JICA専門家、ユニセフ・プログラムオフィサーなどを経て2001年、世界銀行入行。アフリカ地域総局、アフガニスタン事務所、ヨーロッパ・中央アジア地域総局での教育セクター案件を担当し、総裁補佐官を勤めた後、2010年7月からラオス事務所、カントリーマネージャー。

第26回 ビエンチャン懇親テニス大会 プレオフ A/4 F/2

チーム	A	B	C	D	E	F	結果
A 田中 石川		4-1	4-1	4-2	2-4	4-3	4-1
B 安藤 阿部(藤田)	1-4		4-2	3-4	4-0	2-4	2-3
C 斎藤 菊池	1-4	2-4		4-0	2-4	0-4	1-4
D 阿部 藤田	2-4	4-3 8-4	0-4		2-4	1-4	1-4
E 山本 山本	4-2	0-4	4-2	4-2		2-4	3-2
F 森岡 佐々木	3-4	4-2	4-0	4-1	4-2		4-1



6月10日（日）に恒例のビエンチャン懇親テニス大会（第26回大会）が私営ドンパランコートで開催されました。

当日は雨季にかかり、天候が心配されましたが、幸運にも熱戦とその後の簡単な懇親会まで、雨は落ちてきませんでした。

この大会はダブルスで行われますので、毎回、受付時にくじを引いてペアを決めます。午前8時に集合した参加者は途中出場も含め、女性6名、男性7名の計13名でした。6ペアの組み合わせを決めました。

軽いウォーミングアップののち、8時半より5チームが総当たり戦で予選リーグに取り組みました。試合は4ゲーム先取したチームが勝ちです。6ペアが総当たりするので、全部で15試合になります。時間と体力を考えて、デュースは1回のみとして、次のサーブ・レシーブで勝敗の決着を行います。

4ゲーム先取で決着がつく、とはいえ、もつれば3—3の末に勝敗がつきます。長い試合だと20分を超える熱戦となり、これをリーグ戦では各自5試合こなさなければなりません。さらに最後は上位2チームがプレーオフで優勝・準優勝の決着をつけます。日々の体力づくりが結果に如実に現れます。

今回、4勝1敗同士の田中智大・石川真唯子ペアと森岡伸介・佐々木藍ペアが優勝をかけてプレーオフに臨みました。結果は4—2で田中・石川組が勝ちましたが、内容的には最後まで勝敗の行方が見えない熱戦でした。

大会後、優勝者には新品ボールと優勝杯が、また準優勝のお二人には次回の名誉ある幹事役



が授与されました。

因みに第26回大会の幹事役は、第25回大会で準優勝なさった山本貴則さんでした。ご苦労様でした。

このビエンチャン懇親テニス大会は、第一回大会から25回大会まで、6年間あまり続いておりますに、ときには30名ちかい参加者がテニス・プレイとその後の懇親会で親睦を深めた歴史が刻まれています。

本大会は「ウマイ・ヘタに関係なく、一日楽しくテニスを通して交流すること」を旨としています。次回27回大会の開催は9月ないし10月を予定しています。参加費はコート代や使用ボール代の実費を含め5万キープ程度です。日本人会メーリングリストでお知らせしておりますので、どうぞ奮ってご参加ください。全体の対戦結果は表のとおりです。

クリスマス会

日本人会では12月1日（土）ラオプラザホテルでクリスマス会の開催を計画しております。現在いろいろなイベントを企画中ですのでお楽しみにしてください。詳細は追ってメーリングリストの方でご連絡いたしますのでよろしくお願いたします。

賀詞交換会

2013年1月（日時未定）、大人の会員の方限定となりますが、日本大使公邸にて、大使館、日本人会、商工会議所共催にて賀詞交換会を予定しています。

イモ煮会

2013年1月26日（変更もありえます）に昨年も好評でした芋煮会、或いはそれに準ずるイベントを予定しています。現在楽しい企画を検討中です。

(2012年6月～2012年8月月例会の結果)

6/17 (第211回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	山崎 泰弘 (L-JATS)	48	50	98	23	75
準優勝	奥戸 浩一 (個人)	49	46	95	19	76
3位	木下 俊夫 (LJC)	49	50	99	23	76
ベストグロス: 中嶋 博文 (大使館) 82						

7/15 (第212回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	野中 哲 (LCG)	49	47	96	22	74
準優勝	黒木 力雄 (個人)	44	45	89	13	76
3位	木下 俊夫 (LJC)	51	48	99	20	79
ベストグロス: 黒木 謙治 (LJTD) 87						

8/19 (第213回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	山田 隆茂 (豊田通商)	45	42	87	12	75
準優勝	黒木 謙治 (LJTD)	44	41	85	7	78
3位	野中 哲 (LCG)	52	44	96	15	81
ベストグロス: 黒木 謙治 (LJTD) 85						

★ 雨季も終わりに近づき、ゴルフシーズンの到来を控えています。毎月、第三日曜日には、ゴルフ場にて熱い戦いが繰り広げられています。時には真剣に、時には笑いながらゴルフを満喫しています。ぜひ、週末は外に出て、緑に囲まれた空間で清々しい一時を一緒に過ごしましょう。終わってから飲むビールも最高です！

まだまだ月例会の参加者をお待ちしておりますので、エントリー方法等がわからない方や質問がある方は下記の連絡先まで気軽にご連絡下さい。ぜひゴルフを楽しみ、そしてラオス生活を楽しみましょう！